

沖縄公庫、(株)ブルーブックスへ資本性ローンを実行

～ 医療情報システムを活用した事業展開に取り組む企業を支援 ～

沖縄振興開発金融公庫（理事長：譜久山 當則）は、(株)ブルーブックス（代表者：志茂 英之）に対し、資本性ローン（挑戦支援資本強化制度）2,000 万円の融資を実行しました。

(株)ブルーブックス（以下「同社」という。）は、平成 14 年 3 月に設立された医療・健康事業向けソフトウェア業者で、インターネットを用いて被保険者・保険者・医療機関が情報を共有し健康づくりを支援する健康管理ツール「健康マイページ」を開発・運営してきました。この「健康マイページ」は、これまで主に全国健康保険協会（通称：協会けんぽ）と連携し、沖縄、長野、広島各支部、東京（23 区の一部）や関東のいくつかの市町村で活用されている実績があります。このほど、同社は那覇市医師会と連携し、「健康マイページ」機能に那覇市医師会が保有する延べ 37 万人分の特定健診や臨床検査データを登録医療機関で共有する機能を付加した LHR システムを新たに開発しました。

LHR システムとは「Lifelong Health Record（生涯健康記録）」のことで、登録医療機関において個人個人の過去の健診データを踏まえた診療が可能となり、また、食習慣や運動習慣を記録することで生活習慣病の予防に役立てることができるものです。加えて、匿名化したデータを臨床研究や創薬といった先進医療分野で活用することも見込まれます。

今回の融資は、LHR システムを活用した更なる事業展開を図るための運転資金です。LHR システムが目指す最終形の実現には未だ相応の期間を要しますが、期限一括償還となる資本性ローンを活用することにより中長期的な資金繰り負担が軽減されるほか、財務基盤の強化が図られ、民間金融機関から新規融資を受けやすくなることから、同社の円滑な事業展開が期待されます。

資本性ローンは、創業・新事業展開や事業再生等に取り組む中小企業・小規模事業者の財務体質の強化を図るために資本性資金を供給する制度です。

本制度による債務は、長期の期限一括償還・無担保無保証であるほか、他の債務に劣後するため、金融検査マニュアル上、自己資本とみなすことができる等の特徴を有します。こうしたことから、本制度による融資は、民間金融機関融資の呼び水効果が期待されています。

沖縄公庫では、資本性ローンの取扱いを平成 20 年 4 月から開始し、これまで 12 社に対し、計 3 億 9,000 万円を実行しています。

沖縄公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも本融資制度を活用し、中小企業・小規模事業者を積極的にサポートしていきます。

〔問合せ先〕

融資第二部中小企業融資第一班（担当：平良）Tel. 098 (941) 1785

企画調査部業務企画課（担当：亀谷）Tel. 098 (941) 1740

<中小企業・小規模事業者向け資本性ローン（挑戦支援資本強化特例制度）の概要>

融資対象者	創業・新事業展開・事業再生等に取り組む中小企業・小規模事業者であって、地域経済の活性化のために、一定の雇用効果（新たな雇用又は雇用の維持）が認められる事業、地域社会にとって不可欠な事業、技術力の高い事業などに取り組む方
融資限度額	〔生業資金〕 1社あたり3,000万円 〔中小企業資金〕 1社あたり3億円
融資期間	〔生業資金〕 7年以上15年以内 <期限一括償還> 〔中小企業資金〕 15年・10年・7年 <期限一括償還>
担保・保証人	無担保、無保証人
本制度のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本制度に基づく借入金は、金融検査上、債務者区分判定において自己資本とみなされます。 ・ 元金は、期限一括償還の安定資金です。 ・ 利率は、直近決算の業績に応じて、貸付期間に対応した3区分の利率（中小企業資金0.40%～6.35%、生業資金0.90%～7.25%）を設定し、毎年見直しを行います。 ・ 法的倒産手続時には、全ての債務（償還順位が同等以下のものを除く）に劣後します。 ・ 四半期毎の経営状況のご報告を含む特約の締結や、公庫が適切と認める事業計画書を提出していただきます。 ・ 期限前弁済は、原則として認められません。
実績	計12件、3億9,000万円